

13-1 舗装改良工事

13-1-1 本復旧工事の概要

- ①対象路線：被災した東北自動車道 他 16 路線
- ②対象工事：橋梁・土工・舗装・施設工事 など
- ③交通規制：昼夜連続車線規制（24 時間作業）にて実施
※土日祝日及び連休、混雑期は、規制を撤去し工事を行わない
※暫定二車線区間は、短期間の終日通行止を実施
- ④工事工程：平成23年9月5日より本復旧工事に着手、平成24年度内に完了
- ⑤震災事業費（国費+借入金）：約505億円（約490億円+約15億円）

13-1-2 復旧工事における施工管理員の配置

東日本大震災前の配置人数

45名（東北支社管内全体）※ H23.5 末現在

東日本大震災後の配置人数

64名（北上（管）、古川（管）、仙台（管）、福島（管）、郡山（管）、山形（管）、いわき（管））

※ H.25.3 末までの最大配置人数

東日本大震災に関連する復旧工事関連で、19名の施工管理員の増員配置を行った。



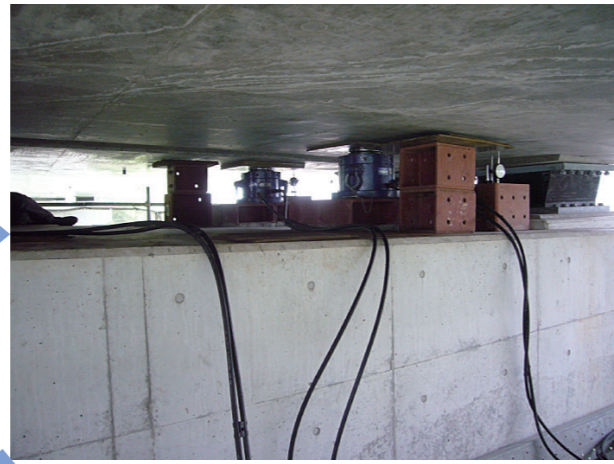
本復旧工事の範囲



本復旧工事（舗装改良）と工事施工管理
東北道泉 IC 付近（宮城県仙台市）



セットボルト取り外し



仮受状況



ゴム沓撤去完了



ゴム沓吊上げ



ゴム沓据付け



ゴム沓据付完了



舗装撤去



床版撤去梁設置



床版撤去



ジョイント据付け



ジョイント取換完了

写真 13-1：仙台北部道路利府高架橋支承受替の状況（P43）

写真 13-2：仙台東部道路東部高架橋ジョイント取替の状況

13-6 対策工検討から設計まで

常磐自動車道

いわき勿来IC～いわき湯本IC間
(下り 158.35KP)

当該箇所は余震により切土のり面が崩壊したものである。東北電力の高圧電線鉄塔基礎部から崩落し、崩落土砂が本線を塞いだ。応急的に崩落土砂の撤去と撤去後のり面保護のためコンクリート吹き付けを実施したが、緩んだ土砂等の撤去は行ってないことから、本復旧のため、動態観測を行いながら調査ボーリング等必要な試験調査を行い、その結果に基づいた対策工を提案し、工事発注用資料を作成した



写真 13-3：いわき勿来IC～いわき湯本間（下り 158.35kp）の応急復旧状況

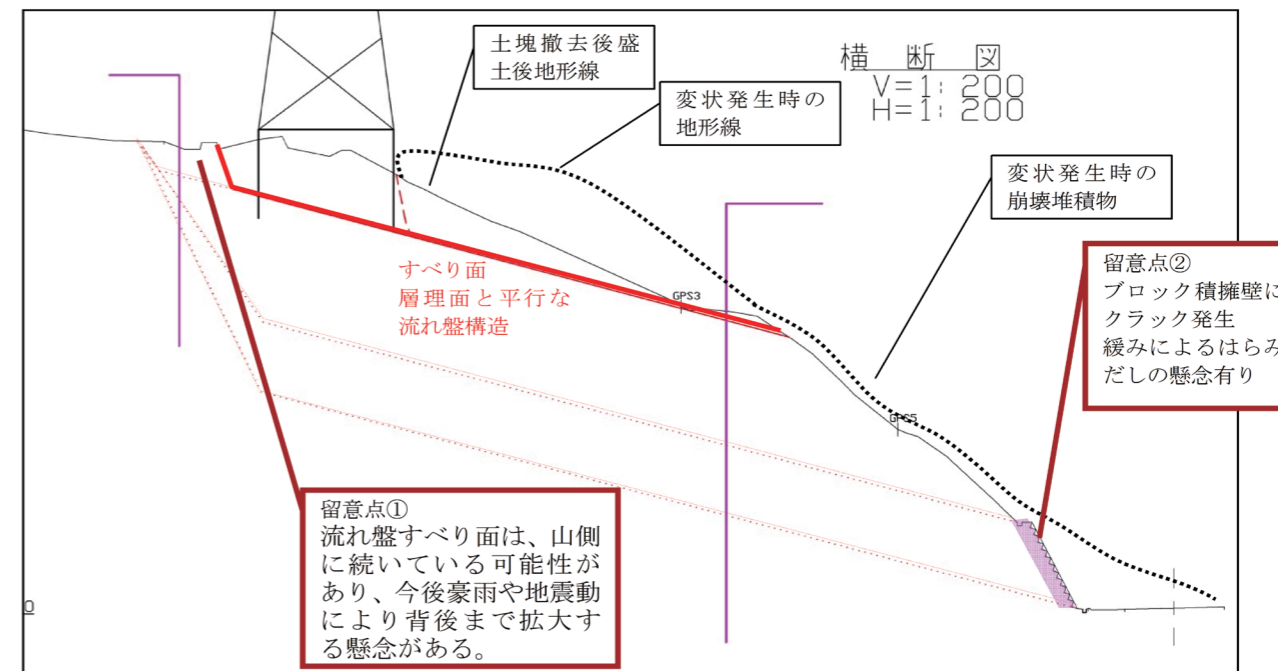


図 13-22：損傷パターンと対策工区分一覧

